

戦争で尊い命を犠牲にされた戦没者を悼み、ご冥福を祈るとともに、戦争の悲惨さや命の尊さを次代へと語り継ぎ、今日の平和が未来へと続いていくよう「平和を紡ぐつどい」を開催します。

日 時

令和6(2024)年9月14日(土)
午前10時から正午まで

受付開始

午前9時30分から

会 場

カネヨシプレイス 小ホール

◆第一部 戦没者の追悼

(午前10時から午前10時30分まで)

追悼のことば、参加者による献花など

◆第二部 平和を紡ぐ

(午前10時40分から正午まで)

①「中学生平和学習広島派遣」報告

令和6(2024)年度の派遣団員が広島で学んだ内容を発表します。

②平和に関する講演会

戦争体験(語り継ぎ手)による講話

『平和を紡ぐつどい』

【平和を紡ぐパネル展】

徴兵制度のもと軍隊や戦地へ行った人々が持っていた装備品や生活用品及びパネルを展示することで戦争について考え、平和の大切さを伝えます。

期間: 令和6(2024)年9月4日(水)から9月25日(水)まで
(サンライズ休館日はお休み)

場所: サンライズ1階ギャラリー

期間: 令和6(2024)年9月14日(土) 午前9時から午後0時30分まで

場所: カネヨシプレイス

※パネルのみの展示となります



【お問い合わせ先】

みよし市福祉部福祉課
TEL 0561-32-8010(直通)
FAX 0561-34-3388

みよし市総務部総務課
TEL 0561-32-8000(直通)
FAX 0561-32-2165

みよし市非核平和都市宣言

核兵器のない世界と恒久平和は、私たち人類共通の願いです。

わが国は核兵器による攻撃を受けた唯一の国家であり、私たちは、非核三原則を掲げ、核兵器廃絶を全世界に訴え続けていかなければなりません。核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、考え、語り、戦争で犠牲になった方々の想いと共に後世へ引き継いでいくことは私たちの使命です。

戦争から年月が経過し、核兵器と戦争を現実として体験された方が年々減る中、核兵器と戦争の記憶を風化させ、惨禍を二度と繰り返すことがあってはなりません。

みよし市は、日本国憲法に基づいて、世界平和を願うすべての国の人々と手を携え、強い決意で、核兵器のない世界と恒久平和を実現するため「非核平和都市」を宣言します。

令和4(2022)年9月29日

愛知県みよし市

戦争の記憶を今に伝える〈みよしの戦争遺品〉

第二次世界大戦中に武器生産に必要な金属資源の不足を補うための「金属類回収令」により寺院の鐘も供出されました。大覚寺(打越町)では、その梵鐘(ぼんしょう)の代わりに、鐘楼堂(しょうろうどう)のバランスを保つためコンクリートで作製された釣り鐘(鳴らずの鐘)が取り付けられました。

戦後間もなく新しい金属製の鐘が作られ、取り替えられました。当時作られたコンクリート製の釣り鐘が、今でも大覚寺(打越町)の境内に残されています。皆さんも平和への想いを胸に、鳴らずの鐘をご覧になりませんか。



実際にぶら下げられたコンクリート製の鐘



釣鐘供出の様子(1943年頃)